

2025年度 園の自己評価と保育士の自己評価

保育園の自己評価

A・・・よくできた B・・・できた C・・・一部改善が必要 D・・・改善しなければならない

① 保育理念・保育観	1	保育士一人一人が、園の保育理念・保育方針を理解している。	A
	2	園の保育方針を理解して、保育計画等が立てられている。	A
	3	常に保育方針や保育観を確認できるような機会をつくっている。	B
	4	一人一人の主体性を大切にした保育をしている。	A
	5	保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している。	B
	改善策	・保育方針や保育観について、園内研修や職員会議で定期的に確認・共有する機会を設け、全職員が共通理解のもとで保育を実践できるようにする。 ・保育実践を振り返る機会を充実させ、保育方針が日々の保育に反映されているかを引き続き、継続的に確認する。 ・子どもの成長や育ちを共有することで、子育ての喜びや達成感をともに感じられる関係づくりを進める。 ・保護者の思いや悩みを丁寧に受け止め、個々の家庭に応じた子育て支援や情報提供を充実させる。	

② 保育計画・指導計画	1	保育方針のねらい及び内容が達成できるような保育課程や保育計画を立てている。	A
	2	保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して、年間計画・月案・週案を立てている。	A
	3	3歳未満児は、現在の姿を理解し、見通しを持って一人一人に応じた保育計画を立てている。	A
	4	配慮の必要な子には、その子に応じた保育計画を立てる。	B
	改善策	・子ども一人一人の発達や興味・関心、育ちの姿をより丁寧に把握し、年間計画・月案・週案へ適切に反映し、継続的な振り返りと職員間の情報共有を充実させる。特に3歳未満児や配慮を必要とする子どもについては、個々の発達状況や家庭との連携を踏まえ、見通しを持った保育計画の作成・評価・改善（PDCA）を継続する。 ・ICTの活用をさらに推進し、効率的に行うことで、記録業務の負担軽減と保育の質の向上につなげる。蓄積した記録を保育の改善や職員間の共通理解に活用し、一人一人に応じたきめ細かな保育の実践を目指す。	

③ 食育	1	食育の重要性を理解し、季節・年齢に合わせて食育計画を立てている。	A
	2	栄養士・保育士等が連携し、会議等で意見を交わしながら、よりよい給食になるよう努めている。	A
	3	できるだけ、地元の食材や旬の食材を取り入れ、様々な食材を味わえるようにしている。	A
	4	給食やおやつは手作りをしている。	A
	改善策	・定期的な会議や日々の情報共有を通して連携を深め、子どもの状況などを踏まえた給食の提供に努める。また、食育の視点も取り入れながら、会議での意見を献立や提供方法の改善につなげ、子どもが楽しく安心して食事ができる環境づくりを進める。 ・ICTを活用して喫食状況や会議内容を記録・共有し、継続的な評価・改善を行い、給食の質の向上を図る。	

④ 職員構成・役割分担・研修	1	職員の仕事や役割が明確であり、連携を取って円滑な園経営ができています。	A
	2	危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制ができています。	A
	3	職員が各委員会に所属し、園の保育や内容を深めるために、それぞれが活発に活動している。	A
	4	園内研修と園外研修の計画を立て、実行している。	B
	5	施設設備や遊具等の安全点検を行っている。	A
	改善策	・危機管理体制の実効性を高めるため、定期的な訓練・研修・振り返りを実施し、課題を共有して継続的な改善を行う。また、園内・園外研修で得た学びをICTを活用して共有・蓄積し、全職員の資質向上と安全管理体制の充実を図る。 ・毎月継続して施設設備や遊具等の安全点検を行い、安全管理に努める。	

⑤ 保護者支援	1	保護者と良好な関係をつくろうとしている。	B
	2	園の保育内容や子どもの姿がわかるような発信をしている。	A
	3	保護者の状況を理解し、個人情報の漏えいに気を付ける。	A
	4	子育てのパートナーとして、保護者の子育ての大変さや悩みを理解している。	B
	改善策	・保護者との対話やICTを活用した情報共有を充実させ、一人一人の家庭に寄り添った子育て支援を行う。 ・保護者の思いや意見を丁寧に受け止め、家庭と園が連携しながら子育ての喜びを共有できる信頼関係づくりを推進する。	

⑥ 子育て支援	1	地域に開かれた園として、日々子育てをしている親子を受け入れている。	B
	2	地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている。	B
	3	子どもの心身の発達や育児不安について、気軽に相談できるようにしている。	B
	4	園生活の子どもの様子を地域にも発信している。	B
	改善策	・地域に開かれた園を目指し、園開放や子育て支援事業、育児相談などを充実させるために園庭環境や園内環境を整えている。また、ICTを活用した情報発信を充実させていく。 地域全体で子育てを支える環境づくりを推進する。	

⑦ 小学校や地域・社会との連携	1	定期的に小学校と交流を行っている。	A
	2	定期的に小学校や幼稚園との会議や職員交流を行っている。	A
	3	高齢者施設との交流を深め、高齢者の方を敬う気持ちを育てている。	B
	改善策	・小学校との情報交換や交流活動を計画的に実施し、子どもの育ちや学びの連続性を意識した円滑な接続に努める。	

保育士の自己評価

1.できていない 2.あまりできていない 3.できた 4.ほとんどできた 5.すべてできた

		内 容	評価 平均
モラルに 関すること	1	髪の毛の色は明るすぎず、保育に支障がないようにまとめ、表情がみえているか。	4.3
	2	身なりや服装において、清潔感を第一に心がけているか。	4.4
	3	職員間で自分から積極的に、相手の目を見てあいさつをしているか。	4.4
	4	保護者、来客には笑顔で目を合わせて自分からあいさつをしているか。	4.5
	5	職員間において、報告・連絡・相談を行っているか。	4.0
	6	上司への義務としての、報告・連絡・相談を行っているか。	4.1
	7	決められた時間を余裕をもって守っているか。	4.0
	8	自分の携帯電話で園児の写真を撮っていないか。また、不適切にSNSを利用していないか。	4.9
	9	言葉使いに気をつけ、子どもを呼び捨てにしたり、あだ名をつけて呼んだりしていないか。	4.1
	10	身の回りの整理整頓、片付けや清掃を実践しているか。	3.8
	11	園全体の美化環境を心がけているか。(草むしり、廊下、玄関、トイレ、保育室等の清掃)	3.5
	12	花・野菜・小動物等の世話をしているか。	2.6
園経営への かわりに 関する項目	13	園の保育理念や基本方針を日々の保育活動に活かしているか。	3.6
	14	自分の保育について課題を具体的に見つけようと努め、教材研究など指導技術向上のための自己研鑽をしているか。	3.3
	15	月案・発達経過記録・研修報告・行事予定等、自分の業務に関する書類は期限内に提出しているか。	3.7
	16	職員会、園内研修等で、自分の考えを発信しているか。	3.0
	17	業務上知り得た子どもに関する情報については、たとえ自分の家族や友人にも話さないようにしているか。	4.7
	18	コスト意識を持って、用具、備品を大切にしているか。	4.1
組織・チーム ワーク に関する項目	19	事故や災害が発生した際の対処の方法について、マニュアル等を通じて十分に理解しているか。	3.8
	20	自分の仕事を行った上で、自ら進んで、他の人や園全体の仕事を積極的に行っているか。	3.8
	21	平日はもちろんの事、早出や遅出、担当の当番を把握しながら、職場の仲間と協力し、円滑に担っているか。	4.1
	22	職場仲間とのコミュニケーションを通じて、より良い信頼関係を築き、仕事の面でも良い影響がでているか。	3.9
	23	常に「感謝する」「労をねぎらう」「褒める」「認める」言葉をかけたり、態度で示したりしているか。	4.2
	24	健康管理に気を配り、職務に支障をきたすことはなかったか。	3.5
(子どもの 保育の方法・ 発達援助 に関する 項目)	25	わかりやすい温かな言葉で、子ども一人ひとりに穏やかに話しかけているか。	3.9
	26	特定の子どもの可愛がったり、否定したりしてはいないか。	4.5
	27	一人ひとりの家庭環境、健康状態、発達など把握しているか。	3.7
	28	否定的、強迫的な言葉を使わずに、子どもと信頼関係が築けるような配慮をしているか。	4.1
	29	常に子どもの繊細なつぶやき、言葉に注意を払い、子どもの心を把握しているか。	3.8
	30	保育中は子どもから目を離さず、けががないように配慮しているか。	4.0

発達援助の基本に関する項目	31	登園時に、一人ひとりの子どもの健康状態を把握し、その日の保育に配慮しているか。	4.0
	32	残さず食べることを強要したり、偏食を直そうと過度に注意することがないようなかかわりをしているか。	4.2
	33	食事を「楽しく・おいしく」味わえるように、雰囲気作りを工夫しているか。	3.7
	34	一人ひとりの発達に応じた、運動遊びを取り入れ実践しているか。	3.4
	35	一人ひとりの発達に応じた、指先を使った遊びや制作活動を実践しているか。	3.6
	36	絵本や童話、紙芝居など年齢に応じたものを計画的に設置し、活用しているか。	3.2
	37	子どもがワクワクするような保育を計画し、実践しているか。	3.5
	38	子どもが心地よく過ごせるよう、換気・温度・湿度に配慮しているか。	4.0
	39	子どもの突発的傷病、体調の変化等、上司の指示に応じて適切な応急処置をとり、保護者に報告をしているか。	4.1
	40	保育時間中に自分自身の声の大きさに配慮しているか。	3.6
	41	子どもにとってのモデルになることを意識し、優しい話し方や援助をしているか。	3.9
	42	保育中は子どもの前での私語は控えているか。	3.8
	43	保育中は原則携帯電話を私的に使用していないか。	4.8
	44	子どもと心から満足できるように一緒に遊んでいるか。	4.2
保護者や地域に関する項目	45	送迎の際には、保護者と平等に会話するように心がけているか。	4.3
	46	保護者が育児に悩みや心配事を安心して話せる存在になるように、心がけているか。	4.2
	47	特定の保護者と必要以上に親密になっていないか。	4.6
	48	不自然な表情や傷、衣服の汚れなどに気づき、虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努めているか。	3.7
	49	園周辺の住民と良好な関係を築けるよう、日常的なあいさつなどを心がけているか。	4.4
	50	中高生の保育体験や実習生を受け入れる時は、その意義や方針を理解し、指導的立場であること意識しているか。	3.8

今年度の反省

子どもの気持ちに寄り添い、一人ひとりの思いや声を意識して受け止めながら関わる姿がみられた。また、職員同士で日々の関りや声かけの方法などを話し合う姿もみられた。今後も継続的な振り返りと改善を積み上げていくことが必要である。

来年度の目標

子どもの思いや気持ちを丁寧に受け止め、一人ひとりに寄り添った保育を引き続き実践していく。また、他の園を視察に行く機会をつくってよりよい「たちばな保育園らしさ」を構築していきたい。

上記内容について気になることやご意見等ございましたら、園の意見箱、メール(tachibana@ryuugekai.net)などでご連絡ください。